

第36回 全国中学校ソフトボール大会 大会速報

【男子2回戦】 B球場(松山中央公園南) 第2試合 横須賀学院中学校(神奈川県) VS 上分中学校(高知県)

上分中 大技小技自由自在!! 横須賀学院中 意地の集中打!



＜横須賀学院中 2回表、高橋が1死3塁から左越えのタイムリー2塁打で1点差に詰め寄り＞



＜上分中 2回裏、小松が1死満塁から3点タイムリー3塁打を放ち、横須賀学院を突き放す＞

平成26年8月20日(水) 10:54 ~ 12:22 球審:越智 一塁:近藤 二塁:久保 三塁:佐々木仁

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
横須賀学院中学校(神奈川県)	0	3	0	1						4
上分中学校(高知県)	4	4	6	X						14

【バッテリー】 <先攻>(横) ●小森 佳佑, 内野 正隆 - 堀 蓮殊
<後攻>(上) ○明神 竜也, 西森 竜也 - 青木 優輝

【長 打】 <本塁打>
<三塁打> 海老原 颯(横), 小松 朋矢(上)
<二塁打> 海老原 颯(横), 高橋 弘地(横), 青木アイゼア(上)

【戦 評】

上分中打線が初回から大暴れ。初回1死1塁から青木アの左前安打で1, 3塁とすると、青木優も左前にはじき返して1点を先制。なおも四球で1死満塁とし、相手のワイルドピッチと内野失策で2点を追加。さらに1死3塁から西森がセンターへきっちりと犠牲フライを打ち上げ、一挙4点を挙げた。上分中はその後も攻撃の手を緩めず、機動力と小技を絡め、着々と加点。一時は1点差に追い詰められたが、一人一人がやるべきことをやって次打者につないだ。

横須賀学院中は2回に死球や小技を絡めて2点をもぎ取ると、1死3塁から9番高橋弘の左越えタイムリー2塁打で1点差に詰め寄り、なおも2死2塁から守屋の中前安打で2塁走者が本塁を突いたが、センター中越の好返球に阻まれた。

【勝者インタビュー】

監督談

ベルトラインをしっかりと振っていくということを徹底して行うことができたのが勝因。目標の準決勝進出を果たすことができたが、これに満足することなくがんばっていきたい。次の試合では、四国大会のリベンジをしたい。

主将談

勝因は、相手を打ち崩すことができたこと。2回に3点を返されたが、その直後に4点を取ることができたのが大きかった。チームとしてはエラーをなくすということを考えていたが、ミスもあった。準決勝では守備からリズムを作り、格上の重信中に勝ちたい。

若人よ 蒼き四国で熱くなれ!